



HISTORY

歴史

緑の国の緑ジャージー代表をひと文字で表現しようとするなら、「魂」だ。パッションあふれるラグビーで、アップセットを歴史に何度も刻んできた。

以前はハイパントを蹴り上げ、猛然とチェイス。相手を潰して好機を得るアップ&アンダー戦法こそがアイルランドの伝統的スタイルと言われて来た。そのジャージーを見れば、勇気を持って前に出るラグビーを思い浮かべる人は多い。

伝統のシックスネーションズ(欧州6か国対抗)では通算22回の優勝回数も(前身大会も含む)、1985年の優勝以降は低迷していた。しかしアルスター、レンスター、コナート、マンスターと地域代表を結成しての強化策が実り、近年は安定して上位にいる。

ROAD TO RWC 2019

近年の足どり

ラグビーワールドカップを区切りと言えば、2011年大会を最後にCTBブライアン・オドリスコル

(2014年までプレー/140キャップ)、2015年大会限りでLOポール・オコンネルが代表チームを退き、長くチームを支えてきたビッグネームたちはいなくなった。しかし世代交代がうまく進むとともに、ベテランたちの充実も。その両者によるチーム構成は具合がいい。

2015年大会では戦前の好調さから優勝候補に挙げられるも、思うようなパフォーマンスを示すことができず8強に終わった。しかし2019年大会に向けた足どりは軽快。特に『大仕事』をやったのけて存在感を大きくしている。まず2016年11月5日、ニュージーランド代表を破った。1905年の初対決から111年かかり、やっと手にした初勝利。テストマッチ18連勝中だった世界王者を止めたのだから衝撃的だった。そして2017年3月19日には、同年のシックスネーションズ最終戦でテストマッチ18連勝中だったイングランド代表にも勝った。2019年大会へ向け視界は明るい。

STYLE

戦力とプレースタイル

ニュージーランド人ながらレン

スター(アイルランド)の指揮を執り、その手腕を高く評価されて現職に就いたジョー・シュミット監督は知将として知られている。

熱いスピリットと高いテクニクを持ち合わせるチームをコントロールするのはSOジョニー・セクストンだ。長い手足を活かしたパスとキックを巧みに使い分け、堅実なゲームメイクもできれば仕掛けてもいいける。攻撃的SHコナー・マレーの鋭い動きとの相性もよく、ふたりが自由に動くときのチームは手が付けられない。

HOローリー・ベスト主将は100キャップを超える実績があり、修羅場で力を発揮する。2016年にテストマッチデビューを果たした南アフリカ出身FL、CJ・スタンダーのハードなプレーはチームに勢いをもたらし、攻守両面で光を放つ。期待は大きい。

BKでは若きCTBロビー・ヘンシヨーがミッドフィールドに立つが、ベテラン勢の力もまだまだ衰えない。WTBトミー・ボウ、FBロブ・カーニーなど、2019年にキャリアのクライマックスを迎える準備を進める選手も多い。

FACT FILE

協会創立▶1879年
エンブレム▶シャムロック(しるつめ草)
ウェブサイト▶www.irishrugby.ie

f /irishrugby
t @IrishRugby
i @irishrugby

RWC RESULTS

- 1987 準々決勝敗退
- 1991 準々決勝敗退
- 1995 準々決勝敗退
- 1999 準々決勝プレーオフ敗退
- 2003 準々決勝敗退
- 2007 プール戦敗退
- 2011 準々決勝敗退
- 2015 準々決勝敗退

HEAD COACH

ジョー・シュミット
Joe Schmidt



1965年9月12日、NZ生まれ。2003-2004年にベイ・オブ・プレントリー(NZ)でアシスタントコーチを務める。その後スーパーラグビーのブルーズでアシスタントコーチ(2004-2007年)。

2007-2010はフランスに渡り、クレルモン・オーヴェルニュでアシスタントコーチを務めた。2010-2013年にアイルランドでレンスターのヘッドコーチに就き、2013年5月から現職。

PLAYERS TO WATCH

FL/NO8

ショーン・オブライエン
Sean O'Brien

攻守にスピードがありハード。アイルランドの田舎、カーローの出身だ。ゲーリックフットボールが好きで、地元チームでプレーすることもある。2012年には欧州最優秀選手に選出。2013年、ブリテイッシュ&アイリッシュ・ライオンズ遠征で活躍。評価を高めた。



SO

ジョニー・セクストン
Johnny Sexton

長身で懐深くプレーする。長い手足を活かしてロングパスを放る。自ら走り、前へ出るプレーも得意で、相手タックルを受けてもオフロードパスで好機を広げる。



キックも正確で長い。味方を前に出し、相手を振り回す。世界屈指の司令塔のひとりと言っていい存在だ。

RWC2019 同プール対戦チームとの過去大会対戦成績

v スコットランド代表

● 15 - 24 RWC1991 (POOL2)

v 日本代表

○ 32 - 16 RWC1991 (POOL2)

v ヨーロッパ地区1

-

v ヨーロッパ・オセアニアPO

-